

弘 前 大 学
教 育 学 部 紀 要

第 108 号

平成24年10月

Bulletin of the Faculty of Education
Hirosaki University

No. 108

October 2012

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

目 次

山形県立博物館教育資料館所蔵の往来物資料 —目的別分類からの考察—	郡 千寿子 (1)
室町時代における漢字音の清濁 —『論語』古写本を題材として—	石 山 裕 慈 (9)
複雑さ・正確さ・流暢さ： コミュニケーションと社会言語学枠組に基づいて概念的なモデルへ	ラウシュ・アンソニー (19)
Vignéras の多重ガンマ関数の無限積表示	西 澤 道 知 (31)
鉄さびの教材化の基礎研究—第一報—	小野寺 美 佳 (41) 矢 野 慎 栃 木 優 宏 長 南 幸 安
鉄さびの教材化の基礎研究—第二報—	小野寺 美 佳 (47) 矢 野 慎 栃 木 優 宏 長 南 幸 安
津軽十二湖、鶏頭場の池付近において 2005年8月29日の豪雨で形成された石礫型土石流堆積物	鎌 田 耕太郎 (57) 工 藤 安 昭
インターネット利用における不快・恐怖体験（嫌な思い）に関する調査研究	大 谷 良 光 (67) 浅 田 豊 斉 藤 奈緒子
地域を見つめるきっかけとなる木工題材開発の一考察	荒 井 一 成 (79) 福 眞 睦 城
津軽三味線の歴史：メソポタミアから第二次世界大戦まで	富 田 晃 (91)
図画工作科における木工作題材の検討と課題	荒 井 一 成 (99) 古 川 香 堤 司 蝦 名 敦 子
発達障害児の無意味語読み速度・音韻操作と文章読みの流暢性との関連について	松 本 敏 治 (107)
近年の幼児教育・保育原理テキストに見られる子育て支援の内容分析	武 内 裕 明 (115)
日米の保健学習における“性と健康”内容の比較研究 —学習指導要領と米国 HECAT—	面 澤 和 子 (123)
大学生における身体不満足感と身体醜形懸念	田 中 勝 則 (131)
「慢性疾患の子ども支援のための養護計画」フォーマットの提案 —糖尿病の子どもへの実践事例での試み—	葛 西 敦 子 (141) 前 田 洋 子
大学生の職業認知の構造の検討 —VRT カード所収の職業を対象に—	吉 中 淳 (153)
DAISY 風テキストリーダーの開発	小 山 智 史 (163)

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

豊 嶋 秋 彦 (委員長)

秋 葉 まり子

鎌 田 耕太郎

杉 原 かおり

弘 前 大 学
教 育 学 部 紀 要
第108号
(2012年10月)

平成24年10月28日印刷
平成24年10月31日発行
編集兼発行者
弘 前 大 学 教 育 学 部
弘前市文京町1番地
電話 (0172) 36-2111(代)
印刷所 小 野 印 刷
弘前市富田町52
電話 (0172) 32-7471(代)

CONTENTS

Investigation report on "OURAIMONO" documents of The Yamagata Prefectural Museum possession : A study based on the purposeful classification analysis	Chizuko KOHRI (1)
A study on Sino-Japanese SEI/DAKU of Medieval" <i>Lunyu</i> (論語) "	Yūji ISHIYAMA (9)
Complexity, Accuracy and Fluency: Toward a Conceptual Model of Communicative and Sociolinguistic Frameworks	Anthony S. Rausch (19)
Infinite Product Representations for Vignéras' Multiple Gamma Functions	Michitomo NISHIZAWA (31)
Basic Study of Teaching Materials of Rusty Irons –Part1	Mika ONODERA (41) Makoto YANO Masahiro TOCHIGI Yukiyasu CHOUNAN
Basic Study of Teaching Materials of Rusty Irons –Part2	Mika ONODERA (47) Makoto YANO Masahiro TOCHIGI Yukiyasu CHOUNAN
Stony Debris Flow Deposits caused by the Localized Torrential Downpour on ... 29 August, 2005 in the Tsugaru Juniko Lakes area, NE Japan	Kotaro KAMADA (57) Yasuaki KUDO
Research which investigated the situation of an inordinate fear, dread and ... unpleasant experience through the internet in use	Yoshimitsu OTANI (67) Yutaka ASADA Naoko SAITO
A Study of Development of Woodworking Education Theme upon the Situation of Industry, Culture and Technology in Aomori	Kazushige ARAI (79) Mutsuki FUKUMA
History of Tsugaru-jamisen: From Mesopotamian Origins to World War II	Akira TOMITA (91)
Study of and Problems in Woodworking Subject Matter for Arts and Crafts Classes	Kazushige ARAI (99) Kaoru KOGAWA Tsukasa TSUTSUMI Atsuko EBINA
The Relationship between Reading speed of Pseudo Word, Phonological Operation and Reading Fluency in Japanese Children with Developmental Disabilities.	Toshiharu MATSUMOTO (107)
A Comparison of Childcare Contents from Current Early Childhood Education and Care Textbooks	Hiroaki TAKEUCHI (115)
A Comparative Study on "Sexual Health" between Japanese Health Education Curriculum and American HECAT	Kazuko MENZAWA (123)
Body dissatisfaction and body dysmorphic concern among undergraduate students	Masanori TANAKA (131)
A Proposed Format for <i>Yogo</i> Care Plans to Support Children with Chronic Diseases ... –Application in an Actual Case of a Child with Diabetes Mellitus–	Atsuko KASAI (141) Yoko MAEDA
A study on the structure of college student's vocational cognition for the occupations included in the VRT cards	Atsushi YOSHINAKA (153)
A New Text Reader Playing Text Files Directly in the Style of DAISY	Satoshi KOYAMA (163)